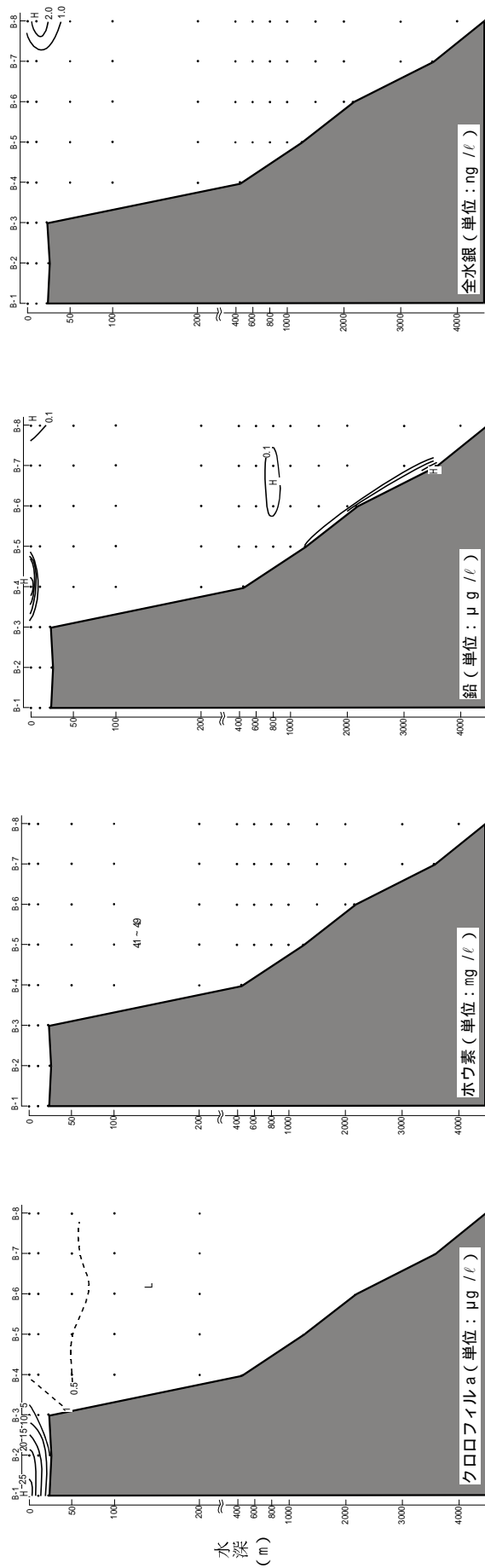
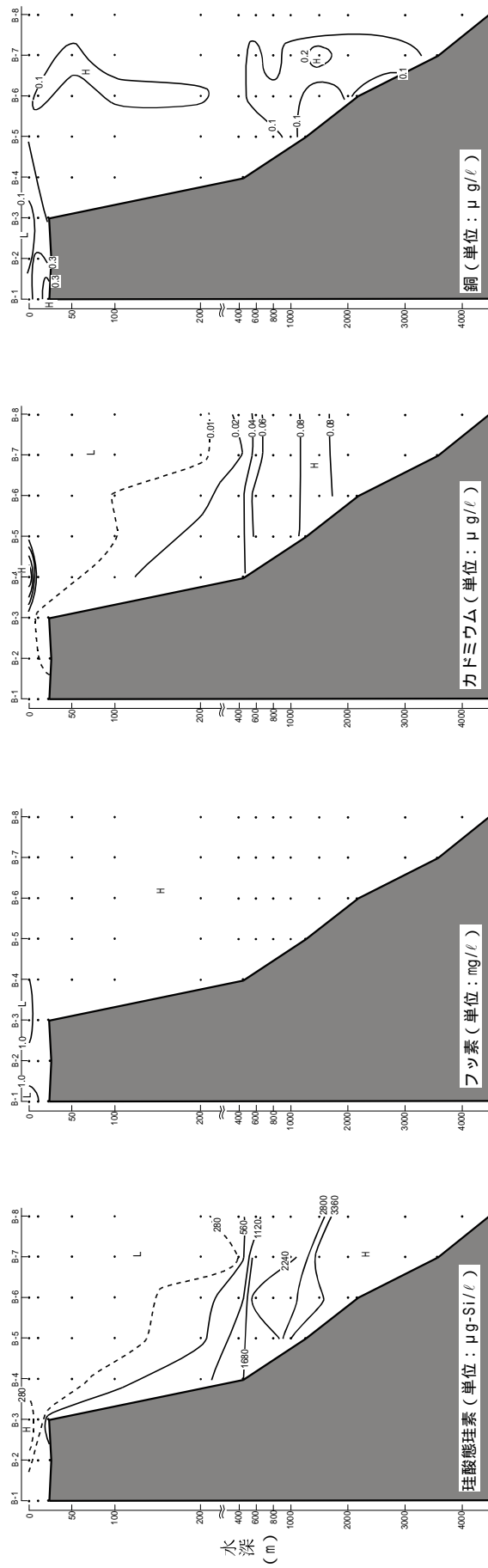


注: 図中のHは極大、Lは極小を示す。
 図2(1) B測線(東京湾~沖合)における海水の測定結果



注：図中のHは極大、Lは極小を示す。

図2(2) B測線(東京湾~冲合)における海水の測定結果

表4 水質調査結果の既往値との比較

調査測線 測定物質等	東京湾－沖合			大阪湾－沖合			沖縄西方測線	
	本調査 (B測線)	日近調査 (T-B測線)	海洋汚染調査 (東京湾)	本調査 (C測線)	日近調査 (O-C測線)	海洋汚染調査 (大阪湾・紀伊水道)	本調査 (D測線)	日近調査 (D測線)
カドミウム ($\mu\text{g}/\ell$)	<0.0011- 0.059	0.002- 0.021	0.008- 0.023	<0.0011- 0.012	0.001- 0.021	0.009- 0.024	<0.0011- 0.0080	0.002- 0.009
鉛 ($\mu\text{g}/\ell$)	<0.05-1.4	0.012-1.27	-	<0.05-0.09	0.06-0.16	-	0.07-0.17	<0.02-0.09
銅 ^{注1} ($\mu\text{g}/\ell$)	<0.013- 0.23	0.08-0.76	-	0.042-0.63	0.11-0.34	-	0.082-0.25	0.13-0.33
全水銀 ^{注1} (ng/l)	<0.3-1.2	2-4	0.8-4.2	<0.3-0.5	2-4	2.4-3.6	<0.3-0.5	3-4
PCB ^{注2} (ng/l)	<0.10-0.11	<0.2	-	<0.10	<0.2	-	<0.10	<0.2
TBT (ng/l)	<5	-	-	<5	-	-	<5	-
ダイオキシン類 (pgTEQ/l)	0-0.0006	(0.0014- 0.14) ^{注3}	<	0.00001< 0.01	<	<	0< 0.00000-	<
炭化水素 ^{注2} ($\mu\text{g}/\ell$)	<0.1- <055	9<05-<02	<08-<08.	<0.1-<043	9<05-<05<	<03-<057	<053-<05<	<04-<07

調査測線 測定物質等	響灘－沖合			富山湾－沖合		津軽海峡－日本海側沖合	
	本調査 (F測線)	日近調査 (E測線)	海洋汚染調査 (響灘)	本調査 (G測線)	海洋汚染調査 (富山湾)	本調査 (H測線)	日近調査 (A1~A4)
カドミウム ($\mu\text{g}/\ell$)	<0<31- <054	<0<6- <043	<057- <042	<05<- <042	<056- <046	<0<18- <052	<05- <045
鉛 ($\mu\text{g}/\ell$)	9<07-<03	9<04-<047	-	<05.-<06.	-	9<07-<02	<03-<051
銅 ^{注1} ($\mu\text{g}/\ell$)	<074-<051	<051-<0.8	-	<046- <05.4	-	<05.- <044(102)	<046-<0.6
全水銀 ^{注1} (ng/l)	9<0.406	6-7	502-.03	<07-501(106)	507-806	<07-<01	.-6
PCB ^{注2} (ng/l)	9<05<	9<04	-	9<05<	-	9<05<	9<04
TBT (ng/l)	97	-	-	97-3	-	97	-
ダイオキシン類 (pgTEQ/l)	<0<<<4- <0<<<.3	-	-	<	-	<0<<<6- <04	-
炭化水素 ^{注2} ($\mu\text{g}/\ell$)	<0.1- <011	<04-<07	<01-<047	<0.3- <054	<08-<063	<041- <048	<04-<02

参考1:「日近調査」は環境庁が実施した「日本近海海洋汚染実態調査」の略称。

T-B測線とA側線は平成5年度、O-C側線は平成6年度、D側線とE側線は平成4年度の調査結果を引用した。

参考2:「海洋汚染調査」は海上保安庁により実施されているものであり、富山湾が平成9年度、その他が平成10年度の調査結果を引用した。

注1:本調査のうち、H測線の銅、G測線の全水銀の()内の値がそれぞれ得られた最大値であるが、比較的沖合域で得られた値で、また、周囲の値と比較すると特異的であるため、ここではこのような扱いとした。

注2:日本近海海洋汚染実態調査のPCB、HCの値は表層海水中のみの値ではなく、上層の範囲である。

注3:「平成10年度 ダイオキシン類緊急全国一斉調査結果」のうち、公共用水域水質のバックグラウンド地域での値を参考までに示した。

表5 海底堆積物の測定結果

海域区分 ^{注1} 測定物質等	内湾域				沖合域			
	検体数	検出範囲	中央値	平均値±標準偏差	検体数	検出範囲	中央値	平均値±標準偏差
水分含有率 (%)	7	19.5-70.3	28.7	36.7±12.7	25	21.8-65.4	46.5	45.0±11.2
硫化物 (mg/g)	7	<0.05-0.33	<0.05	0.12±0.097	25	<0.05-0.13	<0.05	0.054±0.0081
TOC(mg/g)	7	2.6-32	7.5	14±10	25	1.2-23	7.2	9.4±5.5
TN(mg/g)	7	0.3-3.8	0.9	1.7±1.3	25	<0.13-3.0	0.89	1.2±0.68
TP(mg/g)	7	0.22-0.87	0.37	0.42±0.15	25	0.16-0.92	0.49	0.52±0.16
カリウム (μ g/g)	7	<0.03-1.1	0.07	0.28±0.29	25	<0.03-0.66	0.11	0.17±0.12
鉛(μ g/g)	7	4.6-49	14	19±11	25	2.8-30	15	15±7.5
銅(μ g/g)	7	1.7-39	15	16±7.7	25	<1.5-88	29	29±17
全水銀 (μ g/g)	7	0.017-0.46	0.05	0.13±0.12	25	0.0042-0.21	0.024	0.031±0.023
全クロム (μ g/g)	7	23-66	39	42±12	25	13-110	45	57±28
PCB(ng/g) ^{注2}	7	0.61-26	1.5	6.0±7.0	24	<0.08-1.2	0.35	0.43±0.27
PCDD (pgTEQ/g)	7	0.056-3.0	0.14	0.71±0.84	25	0-0.22	0.002	0.022±0.025
PCDF (pgTEQ/g)	7	0.020-3.0	0.16	0.74±0.90	25	0-0.092	0	0.0054±0.0092
co-PCB (pgTEQ/g)	7	0.0070-1.3	0.12	0.38±0.39	25	0-3.2	0.0003	0.13±0.25
ダイオキシン類 (pgTEQ/g)	7	0.083-7.3	0.37	1.8±2.1	25	0.00015-3.2	0.0059	0.16±0.26
TBT(ng/g)	7	<1-42	<1	12±16	25	<1-7	<1	1.5±0.80
DBT(ng/g)	7	<1-33	4	11±11	25	<1-7	2.3	2.9±1.5
MBT(ng/g)	7	<1-39	6	13±14	25	<1-6	<1	2.4±1.7
TPT(ng/g)	7	<1	<1	<1	25	<1	<1	<1
DPT(ng/g)	7	<1	<1	<1	25	<1	<1	<1
MPT(ng/g)	7	<1	<1	<1	25	<1	<1	<1
ベンゾ(a)ピレン (ng/g) ^{注3}	7	<5-83	<5	19±21	24	<5-13	<5	5.3±0.64

注1: B-1~4、C-3~4、F-1を内湾域、それ以外を沖合域とした。

注2: ここでは内湾域と沖合域の比較を目的としたため、沖合域(C-5)で得られた特異値310を除いた。

注3: ここでは内湾域と沖合域の比較を目的としたため、沖合域(C-6)で得られた特異値230を除いた。